

データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている熱量に関するデータベースです。

処方設計時に熱量の算出を行うことが可能です。

データベースの特徴

該当する薬品における100mL（液剤）又は100g（固形剤）当りの熱量とその種類の情報です。

例

『エルネオパNF2号輸液』の添付文書（抜粋）

■混合時（1袋中）			
成分	エルネオパNF2号輸液		
	1000mL	1500mL	2000mL
総熱量	820kcal	1230kcal	1640kcal
非蛋白熱量	700kcal	1050kcal	1400kcal
非蛋白熱量/窒素	149	149	149

『エルネオパNF2号輸液』のデータ（概略）

熱量の種類	熱量（100mL当り）
非蛋白熱量	70kcal
総熱量	82kcal

データベースの機能

処方設計を支援

処方量から各薬品の摂取熱量を算出することが可能です。

カロリーコントロールが必要な患者さんの処方設計のための情報としてご利用いただけます。

例

『エルネオパNF2号輸液』が処方された場合に、処方量から摂取する熱量を算出します。

患者さんの適正な摂取熱量を予め登録しておくことで、算出された熱量との比較を行うことが可能です。

処方例

『エルネオパNF2号輸液』	1800mL（製剤量）	1日1回
処方薬の総熱量を算出		
$\text{総熱量} = 82 \times 18 = 1476\text{kcal}$		

高品質な医薬品情報データベースで様々な課題を解決

データインデックスの医薬品情報データベースは、薬剤師や専門スタッフによる日々のメンテナンスと独自の情報処理技術を基盤としています。豊富な情報量と高い品質を兼ね備え、医薬品情報によって病気の治療や健康をささえる「情報医療」の推進に貢献します。

詳しくはこちらから → <https://www.data-index.co.jp/>

